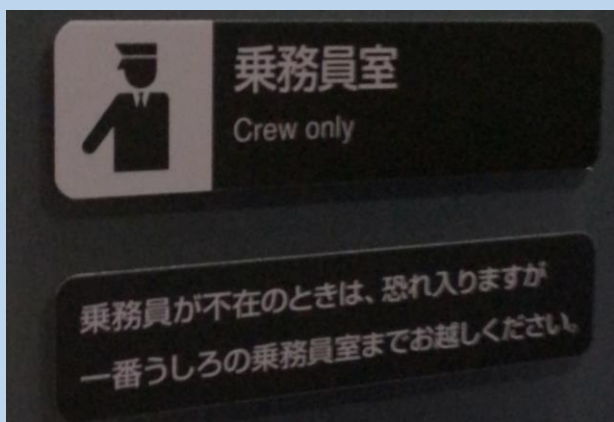
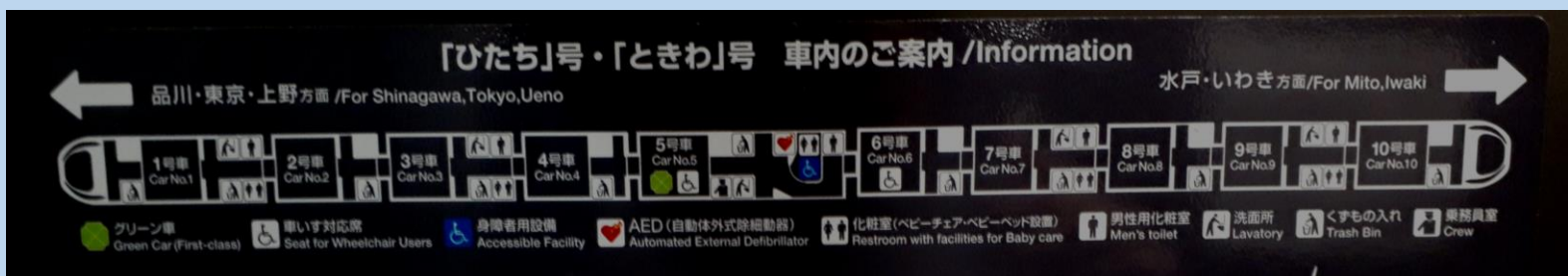


車掌はどこですか？



常磐線特急列車ひたち号・ときわ号の各車両デッキと各座席に「車内設備のご案内」が掲示されています。



設備はピクトグラムで表記され、日本語と英語で解説されています。

乗務員室（Crew）のピクトグラムは5号車に表示されています。

5号車の乗務員室には「乗務員が不在のときは、恐れ入りますが、一番うしろの乗務員室までお越しください」と日本語でのみ書かれています。

「車内設備のご案内」では1号車・10号車とも乗務員室を示すピクトグラムは表示されていません。

常磐線特急列車は10月20日の運用改訂以降、車掌は一人乗務となり、最後部運転台に乗務するため、5号車乗務員室には誰もいません。

「不在のときは」と表記するのは適切な表現と言えるのでしょうか。日本語が読めないお客さまはどうすればいいのでしょうか？

乗務員室の表記めぐる問題はコンプライアンスを問われかねない問題であり、インバウンドの観点からも重大な問題です。このような姿勢が常磐線特急の列車品質を低下させていると指摘せざるを得ません！